

令和 3 年 11 月 26 日

岐阜市長  
柴 橋 正 直 様

岐阜市議会無所属クラブ  
代表 松 原 徳 和

令和 4 年度岐阜市予算編成に係る  
岐阜市議会無所属クラブ要望について

新型コロナ禍における、貴職の岐阜市政への御尽力に敬意を表します。

標記について、別紙のとおり要望を作成いたしました。岐阜市民の生命と生活を守り、市民を取り巻く様々な課題に対する政策をまとめました。新年度予算編成に反映して頂けますよう要望申し上げます。

**令和4年度**

**岐阜市予算編成に係る要望**

**令和3年11月26日**

**岐阜市議会無所属クラブ**

## 総務関係

- 1 市長の退職金は、任期4年ごとに支給されている。現在の岐阜市長退職金31,392,000円は、全国中核市62市の中で5位である。現在の市長退職金を、全国中核市平均値の24,792,979円へ減額すること。
- 2 各事業執行においては、国等の補助金等を活用し、岐阜市財政への負担を軽減し、健全財政に常に努めること。
- 3 最少の経費で最大の効果を上げる運営が行政の基本である。岐阜市全体で毎年約100億円にもなる不用額を解消し、健全な予算編成に努めること。
- 4 岐阜市の契約は、公平性、競争性、透明性の観点から、競争入札を原則とすること。
- 5 公共施設の適正な統廃合に努め、貢献度の少ない不動産の売却等を図り、健全な行政運営に努めること。
- 6 電力については、新電力等との入札を行ないコスト削減に努めること。再生可能エネルギー利用を考慮すること。
- 7 公文書の適正管理を行ない、公文書館により市民の利用しやすい公開に努めること。市議会議員の政務活動費に関する領収書等の保管期間を7年間へ延長すること。
- 8 行政の所有する個人情報保護の徹底を図り、法令遵守の徹底に努めること。個人情報保護の定期的な研修を実行すること。
- 9 各種審議会委員の長期連続再任を中止する規制を、回数、年齢等で強化すること。
- 10 防災対策では、避難所における衛生的な障がい者に使いやすいトイレを設置する等バリアフリーに努めること。

- 1 1 女性の意見を反映する防災対策を拡充し、避難所におけるセクハラ防止対策等を充実すること。
- 1 2 避難所に想定される場所のエネルギーの独立化を図ること。太陽光発電等の設置、LED 照明設置による省電力化で、避難所の外部エネルギーに依存しない設備を確保すること。
- 1 3 防災行政無線の難聴実態を解消するため、FM 放送等の「聞ける設備」の拡充を図ること
- 1 4 災害時の備蓄品として、液体ミルク、生理用品、をはじめ充実し、備蓄場所を単位自治会で行える研究を行うこと。地域の防災訓練時に消費期限点検を実施すること。
- 1 5 災害時の水の安定供給のために、避難所想定施設に井戸手動給水設備の設置を行うこと。市内井戸水のマップを作成配付拡充すること。
- 1 6 防火設備の立ち入り調査を強化すること。病院・福祉施設等の調査内容を定期的に公表すること。
- 1 7 消防団員・水防団員確保を充実し、その処遇改善に常に努めること。
- 1 8 市職員のメンタルヘルス対策に努め、決して自死の発生しない職場環境を創設すること。各種ハラスメント研修を定期に実行し、管理職を含め研修内容を職員間で共有すること。

## 厚生関係

- 1 市民病院の体制について、医療事故の無い体制を構築するために、医療事故事例研究を強化すること。事故発生時には、保証金額確定や市議会本会議開会を待つのではなく、早急に公表すること。
- 2 保健所現場の新型コロナ対策としての人員体制は、人員、手当共に年度の期間を待たず、早急に行うこと。
- 3 高島屋南地区（ビル内）への中保健センター設置について、新型コロナ禍では行わず、さらに再検討すること。
- 4 児童虐待防止等の相談支援を実施する専門職員の正規雇用化を図ること。
- 5 認知症に対する早期対応体制強化のために、社会的理解を深める情報発信体制を図り、社会全体で支援体制を充実すること。
- 6 高齢者が住みなれた地域で安心して生活し続けるために、医療、介護をはじめ、生活支援サービス全体が中学校区レベルの地域で完結される体制を構築すること。
- 7 障がい者虐待の防止に向けた相談支援体制を充実し、市内虐待事例について定期公表すること。
- 8 生活保護受給者に対する就労支援等のために、ケースワーカーを増員し、担当ケースの軽減を図り、対応の充実に努めること。
- 9 がん検診の受診率向上について、ワンコイン検診等、安価な実施等拡充を行うこと。
- 10 犬、猫、等のペットの保護、譲渡体制を充実するとともに、動物愛護に反するような「多頭飼育防止への指導強化」を行うこと。
- 11 「自動車アクセルの踏み間違い防止の為にシステム」設置への助成制度を拡充すること。

## 建設関係

- 1 生活しやすい街、住みたくなる文化都市、そして、バリアフリーの街の創造を目指すこと。滑りにくい歩道の設置充実と拡幅を進めること。街路樹の整備と、自転車道整備を進めること。
- 2 巨大地震対策として、道路、橋、上下水道等インフラの再点検を定期的に強化すること。計画的な再整備に努めること。
- 3 通学路の安全点検や、自治会等地域の安全点検で判明した危険箇所について、ガードレール設置や歩道周辺の整備を行ない、市民の安全確保に努めること。ブロック塀の撤去事業について、全国の事故例を示すなどして、市民への周知をはかること。
- 4 ゲリラ豪雨対策として、水路・側溝整備、遊水池整備、排水ポンプ設置整備再点検とポンプ稼動時間（ON の）の適時、点検を実行すること。
- 5 公園トイレについては、災害時の避難場所を想定し、マンホールトイレ等の整備拡充も行ない定期点検すること。
- 6 老朽空家対策として、市内空家を定期点検し所有者へ「適切管理通知」を定期的に発送し、撤去対策を進めること。

## 経済環境関係

- 1 「新型コロナなんでも相談窓口」を創設し、市民・中小企業商工業者の相談、とりわけ年末年始の不安に添えること。就労支援を行うこと。
- 2 産業誘致を、物流、半導体、薬学など地域、人材条件などを考慮し進めること。
- 3 鵜飼観覧船の高級化においては、バリアフリーの点から障がい者も安心して乗船できるトイレ設置船とすること。
- 4 観光地区におけるトイレ整備を行うこと。柳ヶ瀬など繁華街では空き店舗の借り上げ等を行ないトイレ整備も考慮すること。清掃を毎日おこなひ、観光客の気持ちよい利用を図ること。
- 5 地産地消型への農業と学校給食の連携により、「食育」を進め農業者への支援を進めること。
- 6 産業廃棄物不法投棄防止の啓発・監視活動の強化を進めること。
- 7 環境行政への自治会の協力を獲得する為にも、一般ごみ収集の無料化を継続すること。
- 8 東部クリーンセンターの火災事故対応に要した費用については、当該裁判に努力し、荏原環境プラントから回収すること。

## 文教関係

- 1 2019年7月3日に発生した「いじめを原因とする中学生転落自死事件」の「岐阜市立中学校におけるいじめの重大事態調査報告書」の岐阜市ホームページへの公開を行うこと。
- 2 「いじめ防止対策条例」へ「いじめ加害者の登校を制限する市長権限」を追加すること。
- 3 教育委員会を経由せずに、市長へ「いじめ実態」を伝える『市長へのいじめホットライン』を創設すること。
- 4 学校授業の中で、「いじめは犯罪である」と、確実に教育すること。
- 5 学校職員と児童生徒に、障がい者への理解を深める機会を拡充すること。
- 6 学校職員と児童生徒に、性的マイノリティへの理解を深める機会を拡充すること。
- 7 いじめを原因とする児童生徒の自死に関連し「学校現場の事なかれ主義や隠蔽、責任逃れなど各地で散見される」と報道されている。教員自身に『いのちの教育』を実行すること。
- 8 パソコン通信環境が全ての児童生徒に確保されようように拡充し、費用は公費負担とすること。
- 9 義務教育に必要とされる費用は、基本的に無料とし、学校給食の無償化を進める。当面、岐阜市立中学校の給食費の半額を無償化とすること。
- 10 食物アレルギーについては、命にかかわる事例もある。学校給食での対応マニュアルを充実・更新・再確認を常に行うこと。メニュー、調理段階、配膳、など教育委員会事務局と現場では教員の責任で実行すること。